

## ■ 共愛ワークスタディ奨学金

学業・人物ともに優秀であり、奨学金を希望する学生が、学内の基本的な業務に従事することで給付される奨学金です。奨学金を得るだけでなく、体験を通して社会人を養成することも目的としています。

業務状況などの審査により奨学生として不適格と認められる場合には、給付が停止されることがあります。学生センター奨学金担当者が個別の相談に応じています。

### 1. 共愛ワークスタディ奨学金 (A)

#### ● 給付額・給付方法・返還

給付額	給付方法	返還
1時間の業務に対して1,000円	給付	不要

#### ● 説明

- 概要：学生が学内の基本的な業務に従事することで給付される奨学金です。採用は1年または半年間で、年間採用の場合は中間時に更新審査があります。前期から業務開始されますので、その期間に留意してください。
- 対象：全学生が対象となります。
- 人数：若干名（採用者がいない場合もあり）
- 手続：次のスケジュールで手続きを行います。
  - 11～12月：ワークスタディ奨学金説明会・願書・志願理由書配布  
※希望する学生は必ず出席しなければなりません。
  - 11～12月：願書・志願理由書を学生センターへ提出
  - 翌1～2月：採用者決定（4月業務開始）
- 採用：提出された書類、学修状況、並びに面接の結果を総合し、採用の可否を判断します。留学生の場合には、留学生支援センターとも協議をします。年間採用者が8月の更新審査（学修状況・業務従事状況等により審査）で更新不可となった場合は、その時点で奨学生としての資格を失います。
- 給付：1時間の業務に対して1,000円を給付します。
- 業務：次の内容・時間になります。
  - 内容：教室・校舎内の美化、郵送物の封入・発送準備、印刷機・掲示板の管理、イベントの会場づくりや受付、学生向けの情報収集と提供、講座資料の準備などが想定されますが、この他にも多種多様な業務があります。ただし、奨学生は特別の事情がない限り業務を選択することはできません。
  - 時間：授業期間中は、空き時間をもとに従事する曜日・時間を決め、業務に従事します。長期休業期間5～6時間/日など集中的に従事することもあります。また、土曜、日曜の業務もあります。
- (参考) スケジュール (2年生の場合の例)

1年生					2年生												
11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
申請	願書配布	説明会	申請	面接	採用者決定	業務前半開始					業務前半終了	更新審査	業務後半開始				業務後半終了
募集・申請・準備期間					業務従事（奨学生である）期間												

## 2. 共愛ワークスタディ奨学金（B）

### ●給付額・給付方法・返還

業務	給付額	給付方法	返還
IT サポート	1 時間の業務に対して 1,100 円	現金支給等	不要
TA	1 時間の業務に対して 1,000 円		

※TA はコースや授業によって扱いが異なる場合があります。

※業務内容によって金額が異なります。

### ●説 明

- 概 要：学生が学内の専門的な業務に従事することで給付されるものです。学内の様々な部署（学生センター・入試広報センター・情報処理センター等々）が独自に採用するもので、業務に応じて特定の知識やスキルが求められることがあります。給付を得るだけでなく、体験を通して社会人を養成することも目的としています。長期のものもあれば、短期のものもあります。
- 対 象：特に限定はありませんが、募集に際して特定の知識やスキルを求められることがあります。
- 人 数：各部署の予算により、特に定めはありません。
- 手 続：各部署において必要が生じた場合、人数や条件、応募方法などが公示されますので、その内容に従って応募してください。
- 採 用：各部署が定める基準により選考が行われ採用となる。
- 給 付：その都度、あるいは月単位にて、振込もしくは現金にて給付されます。総務課で給付される場合と、各部署担当者から給付される場合とがありますので、各部署の指示に従ってください。なお、他の奨学金を受給していたり、特待生が継続している場合でも、受給することができます。その場合この給付額は奨学金受給の上限額の積算には含まれません。